

THE ELDERLY

武庫川女子大学 名誉教授
池田克巳

先日兵庫県立美術館に行き、77歳の建築家安藤忠雄さんの青いリンゴが屋外に展示してありました。そこにはサミュエル・ウルマンの詩の一節が書いてあり、青春とは人生のある期間のことではない、心の有りようだとのことでした。

その時にふと考えたのですが、人は氏か育ちかとの議論もあります。遺伝か環境かとも言えますが、現在ではより遺伝が環境に影響を受けやすいとの話があります。一般人が運動することにより遺伝子の発現に関与するDNAメチル化が変化することも報告されています。また栄養因子によっても遺伝子発現が変化することが言われています。先ほどの詩についても青春とは心の有りようだとのことですが、ストレス等の心の変化でも遺伝子発現に影響するようです。今後さらに心の有り様により遺伝子発現が制御される研究が進むのかもしれませんが、環境は密接に遺伝子発現に関与しているようです。



また実験動物であるラットでも遺伝的に均一な系統がよろしいとのことで近交系が使用されていますが、今後は環境条件もいま以上に考慮する必要がありそうです。そういえば以前にSHRSPの脳卒中の発症率がアメリカの餌と日本の餌で発症率が異なることで色々議論になりましたが、このような変化も遺伝子発現が変化していたのかもしれませんが、また大豆、魚を含む餌で飼養すると脳卒中の発症率が抑えられるとの報告もこれらの遺伝子発現制御が関係していたのかもしれませんが。

先年9月上海で18th国際SHRシンポジウムがあり、参加しました。シンポジウムは盛会でした、その折、外灘にあるフェアモントピースホテル(和平飯店)のOLD JAZZ BARでオールドジャズバンド(老年爵士楽団)のジャズ演奏をききました。OLD JAZZ BARは和平飯店ホテルの北楼1階にあり、老年爵士楽団といえば平均年齢75歳以上のオールドジャズマンの演奏が有名です。楽団員みなさんいたって元気で楽しそうにスタンダードナンバーの‘A列車で行こう’を演奏していました。

○目次

巻頭言	P1
理事会報告	P2
お知らせ	P4



幸せな人は長生きかについてなど、心の有りようや健康や長寿についての研究が LANCET にあります。安藤さんや老年爵士樂團はともに好きなことを現役で活躍していらっしゃいますが、高齢で働くことが、好きなことをしていることが遺伝子発現の制御にどのような影響を与えているのか、いわゆる DNA 配列変化を伴わない遺伝子発現変化であるエピジェネテックスはどのようになっているかどうかはわかりませんが、遺伝子発現の変化があれば興味ふかいと思えます。